

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ Support for the aged person and support system for care insurance system Ⅱ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義		選択 (社会福祉士国家試験受験資格取得必修)	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ、社会福祉士受験資格指定科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
中島 佳子		栄養棟3階	月～木の授業以外の時間	授業中に指示します
授業の概要				
「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ」では、高齢者の介護や介護をする家族・専門職について学習し、その一員として果たすべき役割を理解する。そして終末期を見据えた要支援・要介護高齢者とその家族等へ様々な相談援助ができ、また各種の社会福祉サービスを効果的に提供できるようになることを目的とする。				
授業の到達目標				
①高齢者を支援する専門職とそのチームアプローチについて理解できるようにする。 ②介護の概念や対象およびその理念について理解できるようにする。 ③終末期ケアの在り方について理解できるようにする。				
授業の方法				
主に講義形式で進めるが、学生の理解を深めるためグループでの演習やディスカッション形式で授業を進めることもある。また外部講師による授業を1回実施する。				
学習の成果				
①高齢者を支援する専門職の一員として果たすべき役割を理解することができる。 ②介護とは何か、介護を必要とする高齢者、介護の考え方、範囲等について理解することができる。 ③終末期の定義や終末期ケアを行うための援助者の役割、チームケアについて理解することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション（授業の目標と進め方、成績評価についての説明、諸注意等）			
第2回目	高齢者を支援する専門職の役割と実際①（専門職の職種と役割）			
第3回目	高齢者を支援する専門職の役割と実際②（チームアプローチ）			
第4回目	介護の概念と範囲			
第5回目	介護の理念と対象			
第6回目	介護各論①（自立に向けた介護）			

第7回目	介護各論②（介護の技術、介護予防）	
第8回目	介護各論③（認知症ケア　認知症の原因となる病、認知症の症状）	
第9回目	介護各論④（認知症高齢者を支える取り組み　外部講師：臨床美術士小橋操先生「芸術療法」）	
第10回目	介護各論⑤（介護と住環境）	
第11回目	介護各論⑥（終末期ケアの考え方と実際、倫理観）	
第12回目	高齢者の社会参加とシルバーサービス	
第13回目	事例検討	
第14回目	これからの高齢者福祉における課題	
第15回目	まとめと試験	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
		評価の基準
授業参加態度	20%	積極的に授業へ参加している。板書、発言をきちんと行う。授業理解を深めている。
レポート	10%	以下の事柄で評価します。演習やディスカッション、課題をもとに要領を厳守して作成されているか。 授業で学んだ知識を用いて、自身の考えを踏まえ作成されているか。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験	70%	○×形式、選択方式、記述式を用います。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
新・社会福祉士養成講座「高齢者に対する支援と介護保険制度」中央法規		
履修上の心得・ルール		
私語、携帯電話の使用を禁止する。		